

NEXT きらめき

☆特別国民体育大会（かごしま国体）出場

※2020年にコロナ禍で中止となった「かごしま国体」の延期開催となるため「特別国民体育大会」となっています。

ワイルドウォーター スプリント・1500m (角藤さん)
スプリント カヤックシングル 200m・500m (谷本さん)
スプリント カナディアンシングル 200m・500m (押田さん)



大洲高等学校 3年 (写真上下とも左から)

角 藤 友 さん
谷 本 風 花 さん
押 田 さくら 子 さん



大洲高校カヌー部の三人は7月に行われた四国ブロック大会を突破し、令和5年特別国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」（カヌー競技：10月13日(金)～10月16日(月)）に出場しました。部員はみんな仲間であると同時に代表の座を争うライバルというカヌー部。顧問の松盛敦教諭も「彼女たちの学年は人数が多く、熾烈な競争に途中で辞めてしまうかも」と不安が頭をよぎったそうですが、「部員全員が同じ目標に向かって、チームワークで支え合った」と三人が口を揃えるように、チーム一丸で努力を続けた結果が今回の国体出場に結び付きました。現キャプテンの谷村碧泉さんからは「努力する先輩たちの背中を見てきた。いつかは超えようと私たちも頑張る」と目標にされる三人ですが、高校卒業後も地元でのカヌーイベントなどに参加して、大洲とカヌーを盛り上げることで応援してくれた人たちに恩返ししていきたいそうです。

HighSchool NOW

Vol.83 帝京第五高等学校

～市内5校の高校生によるリレーエッセイ～

看護科2年の政所心美です。看護科に入学してから約2年がたち、看護に関するさまざまなことを学び、無事戴帽式を終えることができました。ナイチンゲール像から灯火、校長先生からはナースキャップをいただき、ナイチンゲール誓詞を斉唱し、戴帽式を終えた今、ほんの少しだけ自分の夢に近づくことができたと感じ、うれしく思った反面、責任の重さも感じました。

私は正確な知識と技術を持ち、多くの人から信頼される看護師を目指します。学年が上がるにつれて勉強内容が難しくなったり、これからは病院実習が始まったりと、乗り越えていかなければならないことがたくさんあります。特に実習中は、自分の勉強不足でうまくいかなかったり、悔しい思いをしたりすることがあると思います。しかし、どんなときでも笑顔を絶やさず、前向きに一生懸命努力し続け、自分の夢である看護師になります。そして、どんなときも、支えてくれる自分の周りの人たちへの感謝の気持ちを忘れず、これからもいろんなことを頑張っていきたいと思えます。



一回は大洲高等学校からです。

受章おめでとうございます

秋の叙勲

瑞宝双光章



保護司

本竜 拙宗 さん
(河辺町河都)

第41回危険業務従事者叙勲

瑞宝双光章



元県警部

佐々木 文雄 さん
(徳森)



元県大洲地区広域消防
事務組合 消防司令長

守田 嘉洋 さん
(東大洲)



地域の安全を守り続けて

大洲交通安全協会白滝支部長を務める森川純行よしゆきさんが、内閣府交通対策本部長から令和5年度交通安全功労者として表彰されました。

森川さんは昭和53年に白滝支部の役員に就任して以来40年以上にわたって、街頭指導やカーブミラーの整備など地域の安全を守る活動を続けており、その功績が認められての表彰となりました。森川さんは「事故防止と地域活性化のためにこれからもがんばりたい」と話していました。



お城deコーラス 思い出できた

11月23日(木・祝)、大洲城天守閣で「お城deコーラス 思ひ出事業」を開催しました。コロナ禍で各種行事や行動を制限された学生生活を送ってきた市内の中高生に記念となる思い出を増やし、ふるさとを愛する心を持ってほしいと開催した音楽会で、76人の生徒が大洲市民の歌「100年後僕らは…大洲より」などを合唱し、天守閣に歌声が響きました。橋本岳人山がくじんさんさんの尺八や歌手のかとうれい子さんの歌も披露され、参加者の心に大洲の思い出が刻まれた一日になりました。



白滝るり姫まつり

白滝地区の伝統行事「るり姫まつり」が11月23日(木・祝)に開かれました。白滝地区の子供たち24人が戦国時代に滝に身を投げたるり姫などに扮した稚児行列は、白滝公園内のるり姫親子観音像まで歩いて登り、最後に滝川に菊の花を投げ入れて、るり姫を供養しました。また、祭りでは長浜高校の生徒がボランティアとして出店や餅つきを手伝い会場を盛り上げていました。この稚児行列は1960年代から毎年行われていることです。



伝統の技で自在に操る

11月23日(木・祝)、4年ぶりの文楽合同公演大会が肱川風の博物館で行われました。この大会は昭和34年から開催されており、今回で64回目となりました。

肱川町大谷地区の大谷文楽をはじめとする県内4つの文楽保存会がそれぞれの演目を披露しました。人形たちが命を吹き込まれたように動き表情を見せる様子に、訪れた観客たちは固唾をのみ、演技が終わると大きな拍手を送っていました。



秋晴れのもと開催 大洲市駅伝大会

第15回大洲市駅伝大会を11月26日(日)に開催し、中学生の部を含む男子28チーム、女子8チームが出場しました。今回も工事などの影響で若宮堤防上の折り返しコースとなり、喜多小学校のグラウンドでは各区間の選手がたすきをつなぐたびに歓声が飛び交っていました。

【各部門の優勝チーム】 一般2部：平野美里会A、一般女子の部：ひまわりレディース、中学生男子の部：大洲南中学校A、中学生女子の部：大洲南中学校A



街の安全をみんなで守ろう

年末年始に向けて街の安全を守ろうと、青色防犯パトロール活動の出発式が12月1日(金)に大洲警察署で行われました。出発式の後、たいき地区青色防犯パトロール隊連絡協議会の隊員が青色ランプを点けた車に一齐に乗り込み、参加した51台の車がそれぞれの地区のパトロールへと警察署を後にしました。たいき地区青色防犯パトロール隊は26団体が加盟し、県下でも有数の規模となっています。

身近な問題として考えよう 人権問題

12月4日(月)から10日(日)の第75回人権週間に先立ち、12月1日(金)、人権対策協議会大洲支部役員、人権擁護委員などが企業訪問と街頭啓発を行いました。

今年度は啓発活動重点目標として「『誰か』のことじゃない」を掲げており、いじめや虐待、性被害、障害のある人や性的マイノリティなどに対する差別や偏見、部落差別など社会に存在する全ての人権問題について「誰か」のことではなく私たち一人一人の問題として考え、行動してほしいと訴えかけていました。



温かさを感じて いどばたマルシェ

12月3日(日)、肱南地区の勘兵衛屋敷跡で「いどばたマルシェ」を開催しました。チケットを購入して参加すると青年農業者が育てた野菜や果物、もち米を使った料理や杵つき餅、しぼりたてジュースを好きなだけ楽しめるイベントで、参加者は餅つき体験をしたり温かい手作り豚汁やせいろで蒸した野菜を味わったりしながら七輪を囲み井戸端会議に花を咲かせてゆっくり過ごしていました。



第23回年末ゴミノケーション

肱川流域会議水中めがねによる「第23回年末恒例清掃」が12月9日(土)、大洲インターチェンジ付近を中心に行われました。参加者およそ90人が3班に分かれ、火ばさみとゴミ袋を手にペットボトルや空き缶などを分別しながら集めました。回収されたごみの量は、燃やすごみが2tトラック1台分、燃やさないごみが軽トラック1台分にのびりました。この清掃は、年末年始の帰省客をきれいなまちで迎えるため、毎年実施されています。



高校生と一緒にフラワーアレンジメント

12月9日(土)、大洲農業高校で生徒によるフラワーアレンジメント講座が開かれました。この講座はJA愛媛たいき女性大学「たいきなでしこcollege」の一環として行われ、この日はクリスマスに向けたチューテ(円錐形)の花飾りを作製。専門の講師に加えて生産科学科の生徒12人もそれぞれのグループの指導にあたり、談笑を交えながらお手伝いをしていました。生徒からは「私たちが学んだ技術を地域の人たちに伝えることのできるいい機会。今後も続けていきたい」との声が聞こえました。



きりめき

ニュース

シリーズ

お知らせ

情報ひろば

図書館

未来を拓く

保健センター

相談・救急



「食」で健康づくりに貢献

大洲市食生活改善推進協議会若宮支部の篠崎末子^{すえこ}さんが栄養関係功労者厚生労働大臣表彰を受け、12月11日(月)に二宮市長を表敬訪問されました。

中学校の教員を退職後、平成5年から30年にわたり食生活改善推進活動を行い、市民の健康づくりに貢献してこられた篠崎さん。「資格の勉強や教員として家庭科や保健体育を教えてきた経験も生かしてここまで活動ができた」と満面の笑みで報告し、食と健康の大切さを市長と語りました。



都大路を駆け抜ける

12月24日(日)に京都市で開催された全国高校駅伝大会を前に、県予選17連覇を達成した八幡浜高校女子駅伝部が12月15日(金)に市長を表敬訪問しました。

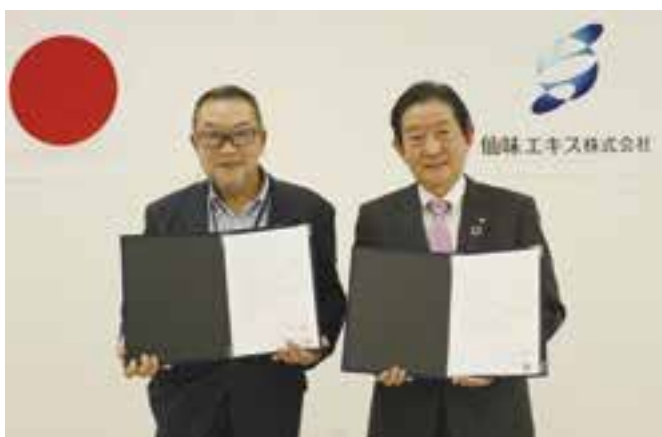
この日、市役所を訪れたのは写真左からキャプテンの清水ことねさん、3年生の東美桜^{みお}さん(平野中)、1年生の三宅わかば^かさん(大洲北中)、辻嘉乃^{かの}さん(大洲南中)、福住遙花^{はるか}さん(大洲南中)の5人。「私たちは、ずば抜けた選手はいないが全員がコツコツと努力し全国への切符を掴んだ。しっかり納得のいく走り、支えてきてくれたみなさんの思いに報いたい」と全員で抱負を語ってくれました。



持続可能なまちづくりのために

「大洲市持続可能な観光まちづくりシンポジウム」を12月16日(土)に市民会館で開催し、市内外から約190人が参加しました。

(一社)キタ・マネジメント職員による取り組みの報告とインバウンド向けメディアMATHCHA代表・青木優^{ゆう}さんによる講演の後、大洲高校1年生15人が「観光サイン」「建物」「コンポスト」の3班に分かれてそれぞれ大洲の持続可能な観光まちづくりについて研究した内容を発表し、参加者は真剣に耳を傾けていました。



食品ロス削減と有効利用に向けて

大洲市内でエキス調味料や機能性食品の製造、販売を行う仙味エキス株式会社と特定非営利活動法人eワーク愛媛(新居浜市)が12月18日(月)に食料寄付に関して確認書を交わしました。これは製造や販売の過程で廃棄となってしまう食品をフードバンク事業に取り組みeワーク愛媛に寄付し、有効活用してもらうもので、仙味エキスの成島克裕^{かつひろ}代表取締役は「食品ロスは当社にとっても重要な課題。こども食堂などで利用してもらうことで我々も安心して製品づくりに取り組める」と語りました。

難波江任^{つとむ}eワーク愛媛理事長(左)と成島克裕代表取締役(右)

【小松菜とバナナのパウンドケーキ】



材料（約4cm×20cmのパウンド型2個分）

小松菜	80g
バナナ	1本
小麦粉	120g
ベーキングパウダー	小さじ1と1/2
卵	1個
砂糖	50g
サラダ油	40g
牛乳	60ml

作り方

- ① 小松菜は洗って水気を切り、2cmほどの長さに切る。耐熱容器に入れてラップをし、600Wの電子レンジで約1分半加熱する。
- ② 小麦粉とベーキングパウダーは、ふるっておく。
- ③ ①と牛乳をピューレ状になるまでミキサーにかける。
- ④ ボウルに卵・砂糖を入れ、泡立て器かハンドミキサーで白っぽくなるまで混ぜ合わせる。
- ⑤ ④にサラダ油と③を加え、混ぜ合わせる。
- ⑥ バナナをつぶしながら加え、さらに②を加えて、ヘラでさっくり混ぜる。
- ⑦ ⑥を型に流し入れ、170℃のオーブンで約40～45分加熱する。

小松菜の栄養

小松菜は、緑黄色野菜の中でも栄養価が高く、ビタミンやミネラルを効率的に摂取できます。

骨粗しょう症や貧血の予防に効果のあるカルシウムや鉄を豊富に含み、特にカルシウムは、ほうれん草の3倍以上含まれています。



【レシピ提供：健康増進課】

CDO補佐官 鈴木邦和くにかず 第13回
DXのすゝめ



先日、政府は来年4月から「ライドシェア」について大幅に解禁する方針を固めました。ライドシェアとは、デジタル技術を活用してドライバーと乗客をマッチングさせる相乗りサービスで、実現すると、同じ目的地の乗客やドライバーとアプリなどを通じてマッチングして相乗りすることで、タクシーよりも安価に移動することができます。すでにロンドンなどでは、ライドシェアがタクシーの半額以下の相場場で利用されており、一般の人がドライバーとして稼ぐチャンスも生まれています。

現在、多くの先進国でライドシェアが解禁されていますが、日本では長らく法律で認められていませんでした。しかし、国内のタクシー運転手が直近4年で2割も減少する一方、海外からの観光客は年々増加しており、一部の観光地では深刻なタクシー不足となっています。そこで、政府は特にタクシーが足りていない地域や時間帯を中心に、一般ドライバーで補うことを認める方針です。

ライドシェアは便利なサービスですが、安全性やドライバーの雇用形態などの課題もあります。多くの外国人観光客が訪れる大洲市としても、今後の政府の議論を注視していきたいですね。

文化財

村島の白梅はくばい
大洲市指定天然記念物
個人所有



この木は肱川中流域左岸の菅田町上村島地区にあり、山裾の人家近くで生長しています。

樹高は約7m、枝張り東西9.15m、南北9.0m、根回り2.85mの大きさとなり、推定樹齢は約300年を数えます。多くの花をつけるため、花期の1月から3月にかけては、離れたところからも白さが際立って見えます。

一般的にウメの樹齢は短く、これほど長寿の例は多くありません。また、市内で長寿の「成見の座論梅」(推定樹齢約250年、市指定天然記念物)も根回りは0.89mに留まるため、この白梅の大きさがわかります。

ウメとしては長寿であり、県内でも最大級のウメとされることから、貴重な樹木といえます。

(平成23年6月27日指定)